

安平町地域公共交通の現状と問題

上位・関連計画及び安平町の地域特性に加え、鉄道やバスの利用実態調査、地区別の意見交換会、住民アンケート等の結果から、その背景とともに4つに分類し、現状と問題を整理しました。

背景・考え方		現状・問題点	
社会背景	公共交通を取り巻く環境	公共交通に対する認知度が低い ⇒ 存在は知っていても詳細を知らないために活用出来ない	2町合併による早来地区、追分地区を中心とする合併後の市街地形成
		少子・高齢化の進展に伴う公共交通利用者の減少と維持費用負担	人口減少に伴う少年団・部活動の合同化
安平町の交通特性	町内の交通	既存路線の効果的な運行	新たな地域資源（道の駅）が立地予定
			全国的な高齢者による運転の増加
			公共交通に対する重要度が高く、満足度が低い
	デマンド交通の改善の必要性	せいこドーム利用者への無料送迎バスの運行	
		あつまバスによる町内循環線を運行しているが利用者が少ない	
		利用者が少ない路線の存在	
町外への交通	近隣市町村との接続性	平成24年度まで運行していた無料循環バスの復活に対する根強いニーズ ⇒ 一方でハイヤーの撤退問題や公共交通としての位置付けの再認識	デマンド交通による空白地域のない公共交通サービスの提供への取組み（旧循環線の代替え）
		デマンドバスとJR等の他の交通手段との接続がない	デマンドバスの土日の運行がない
		デマンドバス利用手続きの負担（予約や取り消し等）	デマンドバスの既存の乗降場所や利用者が少ない便の見直し
		ハイヤー事業との棲み分けの配慮	待ち拠点の位置付けがない
		安平町外へ買い物・通院さらに通勤・通学のためにJRや都市間バスを利用する町民の存在	運転者自身の高齢化及び自動車による移動が困難となった場合のJRや都市間バスの利用ニーズがある
		南千歳への接続便が少ない	JR北海道の運営方針の変化

安平町地域公共交通の課題とその解決に向けた方向性

「公共交通を取り巻く環境」、「既存路線の効果的な運行」、「デマンド交通の改善の必要性」「近隣市町村との接続性」の4つのカテゴリーにて整理した問題・課題について、それぞれ解決へ向けた具体的な方向性を検討しました。

具体的な方向性	実現に向けた課題
時代背景を踏まえ、誰もが利用しやすい公共交通のあり方を構築	現状の公共交通に関するきめ細かい情報提供
	新たな資源を結び、町民や町外の人々の往来や回遊と交流を促す交通体系の整備
	投資効果を最大化し、町民の納得性の高い効果的な公共交通体系の構築
	時代背景（少子化等）に即した交通体系の整理
	全国的な高齢者による事故の増加への対応 ⇒ “私たちの公共交通” 意識の醸成
	交通弱者に対する目的に合わせた適切な公共交通サービスの確保
	町民の意見や生活行動に基づいた公共交通網の構築
公共交通のネットワークを強化し、移動利便性の向上を図る	公共交通利用促進に向けた取組み
	目的外利用が出来ないせいこドームバスに対する、多目的利用への見直し
	町民移動に合っていない運行ダイヤやルートが限られている町内循環線の見直しが必要
	町内4地区の循環を支える交通体系の検討
交通空白地域のない公共交通を維持し、住民交流の活性化を実現	既存交通事業者（JR、ハイヤー等）に配慮した網形成が必要
	町内全ての交通手段を含む中でのデマンドバスの位置付けの再検討 ⇒特に郊外部の交通支援としての位置付けを意識
	デマンドバスの予約方式における柔軟な対応
	デマンドバスと他の交通手段との連携による移動支援
	土曜日診療の移動手段の確保
	滞留空間の創出による待ち時間の有効利用
	利用者の視点に立ったデマンドバス運行事業者への働きかけ
近隣市町村へのアクセスを強化し、流動の活発化を実現	JR路線の維持・確保を補完する交通体系の整理
	空港や千歳市への移動を確保するバスによる南千歳までのアクセス強化
	交通弱者への情報提供